

C2007 4月1日

# ひとつぶ むぎ 一粒の麦 なまえ

1、み言葉を書いて覚えましょう。

ヨハネ 12・24

2、聖書を読み、質問に答えましょう（ヨハネ 12・12～25）。

①エルサレムの人々が、イエス様を迎えた気持ちを考えてみよう（12、13節）。

・少し歓迎した　・大歓迎した　・あやしんだ　・めずらしがった　・困った

そのほか（\_\_\_\_\_）

②関係のあることを選んで線で結んでみよう（24節）。



「一粒の麦が ★

地に落ちて死ぬ」

「死んだなら、 ★

豊かに実を結ぶ」

★麦がまかれる

★種の形がなくなる

★たくさん実がなる

★十字架で死ぬ

★たくさん人が救われる

3、十字架にかかる死なれたイエス様は、どのような実を結ばれたでしょうか。

★多くの人が救われるようになった。

★神様と人とが仲良くできるようになった。

★豊かな命が与えられるようになった。

★たくさんの麦がとれるようになった。

★人が、ほかの人を愛して生きるようにしてくださいました。

4、私たちも、多くの実を結ぶ生き方ができます。どのようなことができるか自由に  
考えてみよう（学校で、お家で、お友達と遊ぶときなど）。

（\_\_\_\_\_）

★私たちも、自分のためだけではなく人のために生きる時、多くの実を結びます。

③ 天の神様、死んで多くの実を結ばれたイエス様にならって、私も多くの実を  
結ぶ者としてください。アーメン。

C2007 4月8日

ふつがつ はつほ  
復活の初穂 なまえ

1、み言葉を書いて覚えましょう。

Iコリント 15・20

2、聖書を読み、質問に答えましょう (Iコリント 15・12~22)。

①死人の復活を信じない人たちに対して、もし、キリストの復活がないなら、どういうことになると書かれていますか。

◎14節 ( \_\_\_\_\_ )

◎15節 ( \_\_\_\_\_ )

◎17節 ( \_\_\_\_\_ )

◎19節 ( \_\_\_\_\_ )

3、キリストの復活は、あなたにとってどのような希望となりますか。いくつでも選んでみよう。

●困難にも立ち向かえる。 ●永遠の命がある。 ●不思議なことがある。 ●ビミョウだ。

●イエス様を信じることができる。 ●新しい命がある。 ●困った時にも希望がある。

●私もよみがえる。 ●決して絶望しない。 ●罪の赦しがある。 ●あまり関係ない。

●そのほか ( \_\_\_\_\_ )

★キリストの復活は、信じる人にとって大きな希望であり、なぐさめです。



神様、復活のイエス様を信じて、困ったこと、悲しいこと、いやなことにも、希望を持つ者としてください。アーメン。

C2007 4月 15日

ぶつがつ しゅ やくそく  
復活の主の約束 なまえ

1、み言葉を書いて覚えましょう。

( )

マタイ 28・20

2、聖書を読み、質問に答えましょう（マタイ 28・16～20）。

①イエス様は弟子たちに近づかれ、何と言われましたか（18節）。

( )

②イエス様は、弟子たちにどのような命令を与えられましたか（19、20節）。

あなたがたは、\_\_\_\_\_



\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

おし 教えなさい。

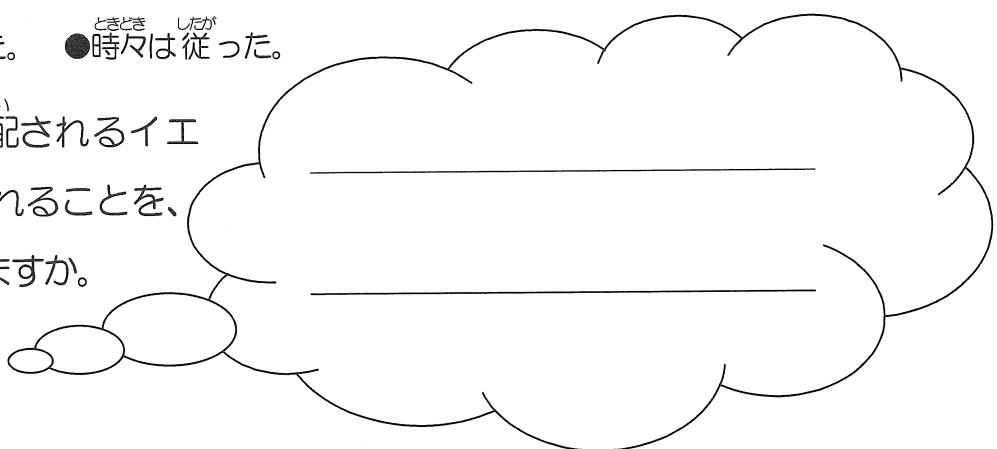
3、イエス様の約束と命令を受けた弟子たちは、それからどうしたでしょうか。

●簡単な命令にだけ従った。 ●従わなかった。

●全ての命令に従った。 ●時々は従った。

4、復活し全てを支配されるイエ

ス様がともにおられることを、  
あなたはどう思いますか。



☆イエス様は、目には見えませんが、信じる者にとっては、励まし、慰め、知恵、力です。

③ 神様、よみがえられ、全てを支配しておられるイエス様が、いつも私といっ  
しょにいてください感謝いたします。アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

Iコリント 15・10

2、聖書を読み、質問に答えましょう (Iコリント 15・1~11)。

①パウロが、最も大切なこととして伝えたのは、何でしょうか。線で結んでみよう。

- 3節 ★
- 4節 ★
- 5~7節 ★
- 8節 ★

- ★ 十二人の弟子たちにあらわれた。
- ★ 私にもあらわれた！
- ★ 私たちの罪のために死んだ。
- ★ 葬られた。
- ★ 五百人以上の兄弟たちに同時にあらわれた。
- ★ ヤコブやすべての使徒たちにあらわれた。

②イエス様にお会いしたパウロは、どのように働いてきたと言っていますか (10節)。

( )

3、「キリストの死、葬り、よみがえり、キリストとの出会い」は、多くの人々の生き方を変えてきました。今日は、どのようなお話を聞きましたか。

( )

4、あなたも、よみがえられたイエス様に出会えると思いますか。



☆よみがえられたイエス様は、だれでもお会いすることのできる方です。パウロの伝えた最も大切なことを信じると、人生は変えられ、キリストにお会いしたという証しをもつ者にされます。

神様、私もイエス様にお出会いして、新しい人生を歩むことができますように、助けてください。アーメン。

C2007 4月29日

ふくいん しゅうり  
福音の勝利 なまえ

1、み言葉を書いて覚えましょう。

Iコリント 15・51

2、聖書を読み、質問に答えましょう (Iコリント 15・50~58)。

①終りのラッパがなるとき、どのようなことが起こりますか (52~55節)。

★死人は (52節) ⇒ ( \_\_\_\_\_ )

★私たちは (52、53節) ⇒ ( \_\_\_\_\_ )

★死は (55節) ⇒ ( \_\_\_\_\_ )

②私たちが変えられるのには、どのくらいの時間がかかると思いますか (51節)。

★カップラーメンができる間。 ★目をパチクリする間。 ★一息の間。

③聖書は、死が将来どうなると約束していますか。

○なくならない。 ○人によってはなくなる。 ○完全になくなる。

○長生きをするがいつかは死ぬ。 ○科学が進んでなくなる。

3、あなたも将来、朽ちない永遠の体に変えられ、イエス様と共に生きられるとしたなら、今、どのように生活したいですか。考えてみよう。

( )

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

☆イエス様を信じる人は、だれでも罪が赦され永遠の命があたえられます。そして終りの時に、朽ちない体に変えられます。



③ 神様、死が勝利にのまれ、朽ちない体に変えられる約束に感謝します。神様に喜ばれる生き方ができますように。アーメン。

C2007 5月6日

# キリストの昇天

しょうてん

なまえ

1、み言葉を書いて覚えましょう。

ルカ 24・51

2、聖書を読み、質問に答えましょう（ルカ 24・50～53）。

①イエス様は、弟子たちに何をされたでしょうか（50節）。

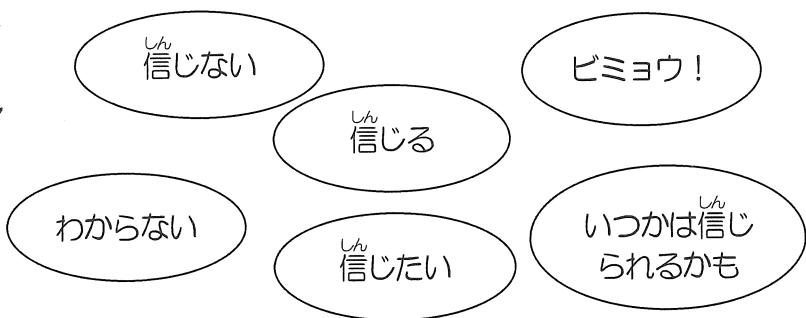
②イエス様は、どのような姿で天に昇られましたか（51節）。

③そこで弟子たちは、何をしたでしょうか（52、53節）。



3、イエス様は今、何をしておられますか。今日のお話で聞いたことを書いてみよう。

4、あなたは、目には見えないイエス様が、今もあなたを祝福しておられる信じますか。



☆イエス様は今も、聖靈によって信じる一人一人にすばらしいことをしておられます。

神様、今も私を祝福してくださいありがとうございます。いつも、イエス様の祝福を信じ感謝しながら生活できますように。アーメン。

C2007 5月13日

しんこう はは  
信仰の母ハンナ なまえ

1、み言葉を書いて覚えましょう。

サムエル上 1・10

2、聖書を読み、質問に答えましょう（サムエル上 1・1～20）。

①ハンナはなぜ深く悲しみ、泣きながら祈ったのでしょうか（2・6節）。

★子がなかった。 ★夫にいじめられていた。 ★食事が少なかった。

★お酒を飲みすぎた。 ★ペニンナにいじめられていた。

②ハンナは、どのような誓い（誓願）をしましたか（11節）。



③ハンナは、祈り終わった時、どのようにでしたか（18節）。



④神様は、ハンナの祈りにどのように答えられましたか（19、20節）。



3、あなたのお母さんが、あなたのためにしていることを何でも書き出してみよう。



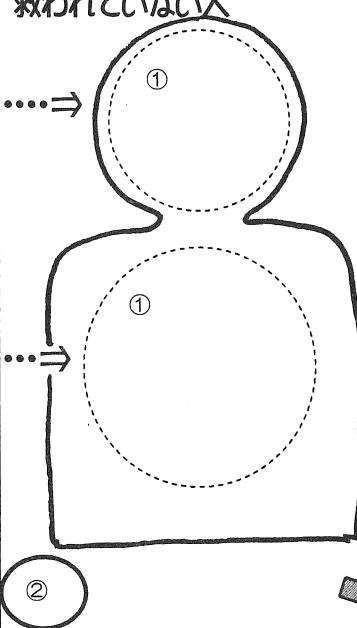
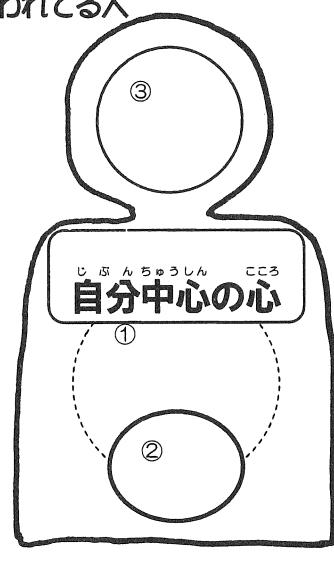
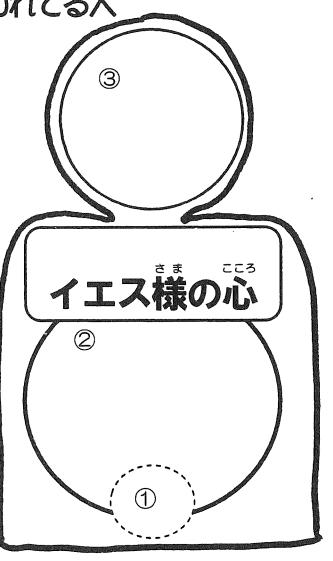
☆あなたのお母さんも、子供の誕生と成長のために、たくさんのことをしています。お母さんに、感謝の気持ちを伝えましょう。

③ 神様、私も祈る者としてください。また、お母さんに心からの感謝の言葉を伝えられますように。アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

Iコリント2・16

2、人間には3種類あります。「生まれながらの人」「肉の人」「靈の人」です。下の表の①～③に〔自分の思い・聖靈・キリストの思い〕の中から選んで書き入れよう。

	生まれながらの人	肉 の 人	靈 の 人
頭 の 中	救われていない人 	救われてる人 	救われてる人 
心 の 中			
出 て く る も の	<ul style="list-style-type: none"> <li>神様のことがわからない</li> <li>罪がわからない</li> <li>死んだらどうなるかわからない</li> </ul>	<p>G 悔い改めと洗礼</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>洗礼は受けてるけど・・・</li> <li>ムカついたり キレたり</li> <li>けんかしたり 悪口</li> <li>わがまま えこひいき</li> <li>つげ口 にくしみ</li> <li>ねたみ いじめ</li> <li>じまん あやまらない</li> </ul>	<p>H 聖靈にあけ渡す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イエス様と同じ愛の心</li> <li>ゆるす心</li> <li>人を思いやる心</li> <li>新しい人を仲間にしてあげる</li> <li>人をはげます</li> <li>よろこぶ心</li> <li>感謝する心</li> </ul>

3、表の「出でるもの」の中で、自分にあてはまるものに○をしよう。



どこに多くの○がつきましたか。

④

の  
人

のところ・・・ ということは・・・あなたは、今

④

の  
人

なのです。

4、「生まれながらの人」が救われるためには、悔い改めて洗礼を受けることが必要です。救われてる「肉の人」が「靈の人」になるためには、聖靈にあけ渡すことが必要です。

③

神様、自分中心であることを悔い改め、聖靈に自分をあけ渡します。  
靈の人へと成長させてください。・・・

アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

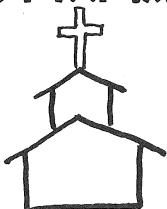
ヨハネ 14・16

2、ペンテコステは、聖靈の火が天からくだった記念の日です。この時から、何がスタートしたでしょうか。

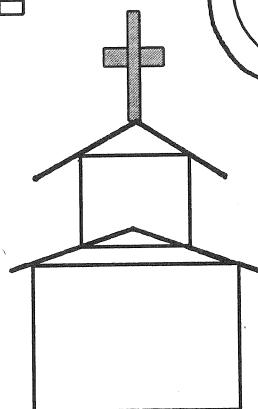
①ペットコンテスト



②キリスト教会



③火事



せいれい  
**聖靈**

それはあなたがたと共におり

①

父は、別に助け主を送って

②

それは、真理の御靈である

③

キリスト教会の建設

3、聖靈は、キリスト教会を建てあげるために、何をしてくださるでしょうか。□の中のみ言葉をヒントにして、○の中に答えを書こう。

4、キリスト教会に加えられたあなたは・・・

(1) 今、どこにいますか。あなたのいるところに、自分の顔をかこう。

(2) あなたは、どこをめざして生活しているのですか。

主の再臨  
世の終わり

(E)

神様 私の一生の間、聖靈が共に歩んでくださり、助け、教えてくださることをありがとうございます。・・・

おし  
たす  
アーメン。

1. み言葉を書いて覚えましょう。

みたま  
**御靈**

ガラテヤ 5・22~23

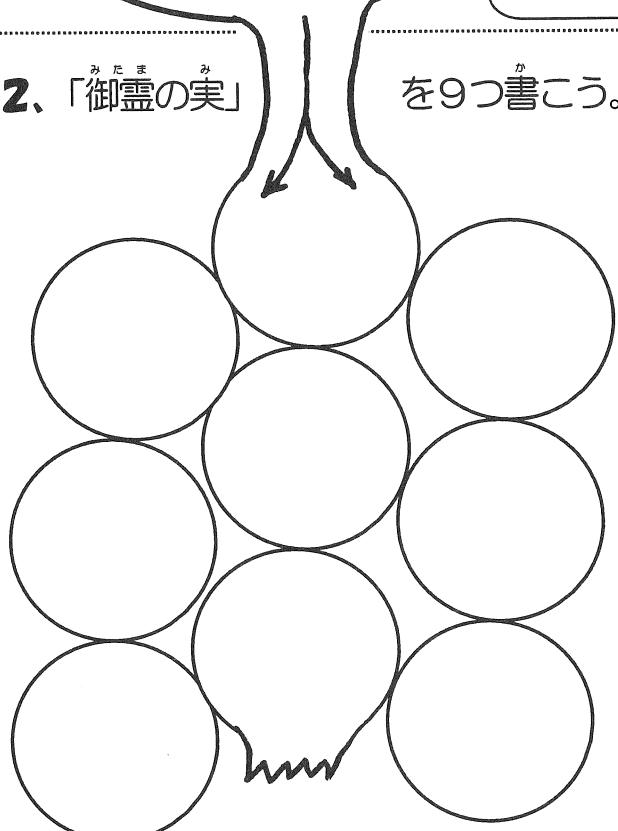
「御靈」って、  
聖靈の神様のことだよ。



みたま  
**御靈**

2. 「御靈の実」

を9つ書こう。



3. 「肉の働き」を 15 こ書こう。


にく  
**肉**



「肉」って、  
神様にさからう性質のことだよ。

にく  
**肉**

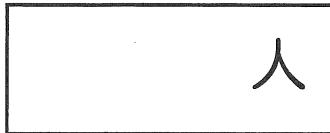
4. あなたにあてはまる「御靈の実」や「肉の働き」に○をしよう。

5. 生まれながらの私たちは、罪の中におり、「肉」の働きがでてきます。しかし、イエス様を信じているのなら、「肉」は、イエス様と共に十字架にかかる死んでいます。24節を書き出して、3回読んで、信じよう。信じますか？（ハイ・イイエ）

1、み言葉を書いて覚えましょう。

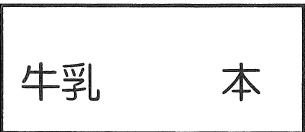
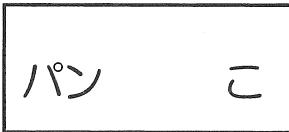
ヨハネ 6・9

2、そこには、男が5000人ほどいました。女と子どもをあわせる  
と何人ぐらいいたと思いますか。



すくなくとも  
1万人はいた  
と思うんだ。

3、一人に牛乳1本、パンを2こづつあげる  
とすると、全部でどれくらいありますか。



4、子どもが持っていた食べ物は、どれだけですか。絵を描きましょう。



5、これは、1万人が食べるのに十分な量でしょうか。

①十分

②少し足りない

③ぜんぜん足りない

6、イエス様が、パンと魚を受け取ってからしたことは、どんなことでしたか。  
その順番を( )の中に数字で入れましょう。

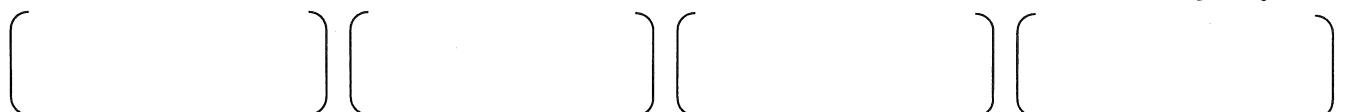
- ( )感謝して
- ( )すわっている人々に、望むだけ分け与えた
- ( )パンと魚を手に取り

7、すると、どうなったでしょうか。○をしよう。

①皆、十分に食べて満腹し、なお、12のかごにいっぱいあまった。

②皆、おなかがすいて、飢え死にした。

8、小さなもの、少ない量でも、イエス様にささげるならば、イエス様はそれを祝福し、  
たくさんにし、大きくして用いてくださいます。あなたは、何をささげますか。



神様、わたしも、また、わたしの持っているものも、小さいものですが  
おささげします。祝福して用いてください・・・

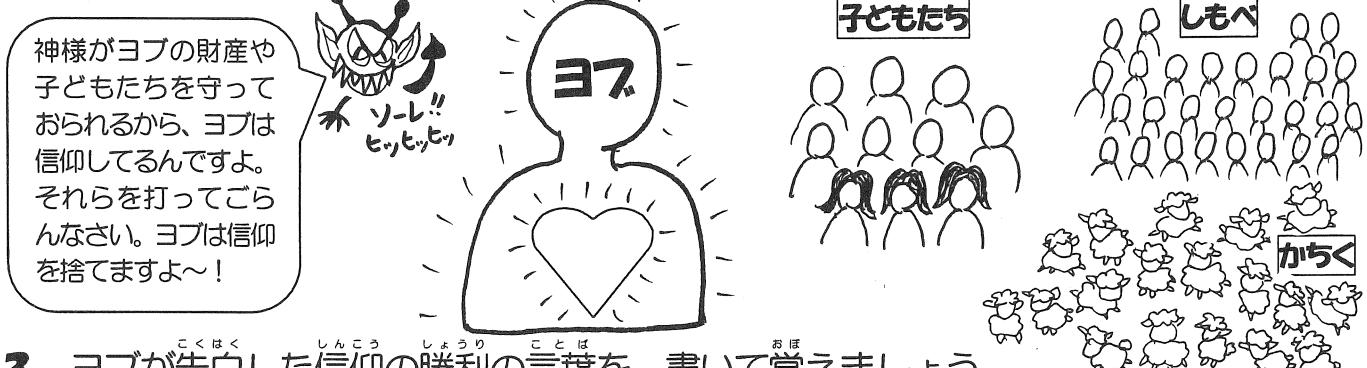
アーメン

しれん しょうり しんこう  
 C 2007 6月17日 試練に勝利したヨブの信仰 なまえ

1. ヨブの正しさを、神様はどのように言われたでしょうか。(1節、8節)

①	②	③	④
---	---	---	---

2. 第1の試練 サタンの試みがゆるされました。家畜や子どもたちをうってみよう。



3. ヨブが告白した信仰の勝利の言葉を、書いて覚えましょう。

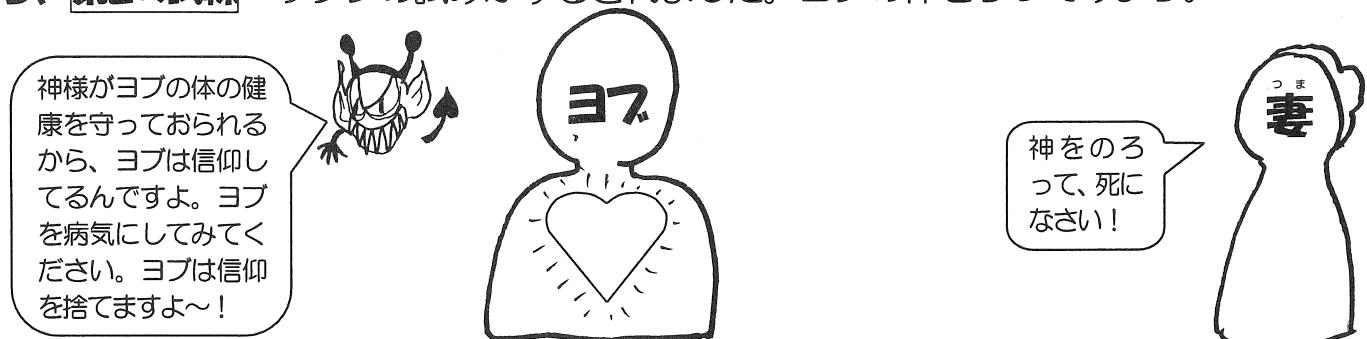
--

ヨブ 1・21

4. ヨブが信仰していたのはなぜでしょうか。○をしよう。

- かみさま　さいさん　かぞく　まち  
**①神様が財産や家族を守ってくれているから**
- かみさま　ほんどう　かみさま  
**②神様が本当の神様だから**

5. 第2の試練 サタンの試みがゆるされました。ヨブの体をうってみよう。



6. ヨブが告白した信仰の勝利の言葉を書いて、3回読もう。

--

ヨブ 2・10

7. ヨブが信仰していたのはなぜでしょうか。○をしよう。

- かみさま　からだ　けんこう　まち  
**①神様が体の健康を守ってくれているから**
- かみさま　ほんどう　かみさま  
**②神様が本当の神様だから**

8. 信仰は試練の時に本物かどうかがわかります。あなたはヨブのような苦しみを受けたらどうしますか。〔〕

〔3〕 神様 よわいわせた！ の信仰を守めて 喜利の道へお進みください。 . . . ハー

C 2007 6月24日 キリストの証人として なまえ

1、み言葉を、書いて覚えましょう。

使徒行伝6・15

2、ステパノはどのような人でしたか（5節）。

と

に満ちた人

かかやくステパノの顔をかいてみよう。



3、このすばらしいステパノがよく教会のお世話をし、力強くイエス様を伝えていたのに、とらえられ、殺されたのはどうしてでしょうか。

①実は、裏で悪いことをして  
いて、ばれてしまった

②正しいゆえに、  
ねたまれ、にくまれた

③なんとなく。かかやいた  
顔が気に入らなかった

4、ヨステパノが殉教する時に言った言葉を書こう。参考に、イエス様が十字架で殺された時に言われた言葉も書き出してくらべてみよう。

(1) ステパノ①

使徒行伝 7・59

イエス様の  
言葉とそつ  
くりだね。

イエス様①

ルカ 23・46



(2) ステパノ②

使徒行伝 7・60

イエス様②

ルカ 23・34

5、ステパノは殺されても、その人たちを憎まないで、祈りながら死んでいきました。どうしてそんなことができたのでしょうか。○をしよう。

①聖靈に満たされていた ②生まれつきそういう性格だった ③天でイエス様がはげましておられた

6、あなたも、悪口をいわれたりして、つらい時に、ステパノのことを思い出して、天におられるイエス様を見上げて祈ろう。（ハイ・イイエ）



神様

わたしも、聖靈の助けをいただいて、つらい時にもキリストの証人として

立つことができるようにしてください。・・・

アーメン。

# 2007年度 牧羊者 第Ⅰ巻

## ワークC解説 4~6月

4  
/  
1

- 第1問 聖書を開き、暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質間に聖書から答えます。②麦の死と結実のたとえは、キリストの死と救いを表していることを説明します。
- 第3問 答えと思われるところに○をします。生徒の靈的な状態が現れます。「実を結ぶ」という言葉の意味をわかりやすく伝えられるようにしておきます。キリストの死が人を救い、そして自分も実を生み出すものとされることを説明します。
- 第4問 自由に答えてもらいます。キリストが罪人を愛し、罪人のために自分を捨てられたことに倣うとき、誰でも実を結ぶことができます。キリストを土台とし、豊かな実が結ばれる生活であるように、祈ってあげましょう。

4  
/  
8

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 聖書を輪読し、聖書を見ながら質間に答えます。答えが長くなりそうな場合は、大切なところだけを書くように指導します。パウロが、目撃者の名前をあげつつ、たくさんの目撲者があいたことを記しているなどにより、キリストの復活が確かにあることを説明すると良いでしょう。
- 第3問 自分とキリストの復活の関係について自由に答えてもらいます。キリストの死とそれに続く復活は、罪、死、挫折などの、あらゆる絶望を取り去る希望です。そして、人の人生を全く変えてしまう素晴らしい恵みであることを伝えます。復活に合わせられた希望を持つことができるよう祈ってあげましょう。

4  
/  
15

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 み言葉を輪読し、聖書を見ながらそれぞれの質間に答えます。宣教命令の大きさ、重みを生徒と話し合うとよいでしょう。人の力だけでは、実行不可能です。
- 第3問 弟子たちは、死に至るまで命令に従いとおしました。そして世界中に福音は伝えられ、教会は広がりました。すべてを支配しておられるイエス様が共におられたので、できたことです。
- 第4問 弟子たちに働いて、人間にはできないことをなされたイエス様が、今も共にいてくださいます。そして人を導き、知恵と力、慰め、平安などを、与えてくださることを説明します。キリストの臨在を、自分のこととして信じるように祈ってあげましょう。

4  
/  
22

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質間に答えます。福音は、パウロが最も大切なこととして伝えたことでした。そして、彼も福音による恵みにより誰よりも多く働いてきました。
- 第3問 メッセージを振り返り、自由に書いてもらいます。キリストに出会い、人生が変えられるのは、聖書時代に限ったことではありません。
- 第4問 人との出会いなどを例にして、キリストに出会いうことの意味をわかり易く説明するとよいでしょう。目には見えなくとも、キリストによって人生が変えられます。キリストの愛と赦しを信じ、復活の主に人生を委ねていく時、キリストにお出会いした新しい人生が始まります。誰でもイエス様にお会いすることができることを伝え、祈りましょう。

4  
29

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。新共同訳聖書、新改訳聖書の場合は、52節前半が含まれるのでコピーをとる際に引用個所を修正しておくとよいでしょう。
- 第2問 み言葉を読み、それぞれの質問に答えます。答えが長くなりそうな場合は、重要なところだけ書き入れてもらうようにします。
  - ①「死は」については、新共同訳、新改訳聖書の場合、55節ではなく54節の参照となります。コピーをとる際に修正しておくと良いでしょう。
  - ②英訳聖書、ギリシャ語原文では、瞬きをする間の出来事と表現されています。一瞬にして、人間にはできなかった死の征服がなされ、朽ちない体が与えられます。まず教師が感動し、生徒と共に喜びましょう。
- 第3問 自由に考えて書いてもらいます。どんな時にも、死に遭遇する時にも希望があります。また、今だけ良ければ良いという生き方ではなく、神様に喜ばれる生き方を求めるように祈ってあげましょう。

5  
6

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質問に答えます。答えが長くなりそうな時は、重要なところだけを書いてもらうようにします。イエス様は、弟子たちを離れて天に昇られましたが、弟子たちは、祝祷の中にあったことを確認します。弟子たちは、主を見ることができなくなつても喜びを持ち、キリストの命令に従っていきます。
- 第3問 メッセージを思い起こし、書いてもらいます。忘れている場合は、もう一度、話してあげると良いでしょう。
- 第4問 無理せず自由に選んでもらいます。聖靈によって今も働きかけてくださるイエス様を説明し、信仰によってイエス様の祝福を受けられるように祈りましょう。

5  
13

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質問に答えます。朗読が長くなると思えるときは、朗読個所を短くします。例えば、10~20節のみにするなど。答えが長くなりそうな時は、重要なところだけを書いてもらいます。
  - ①祈りの始まり（苦しみ）、②祈りの内容（献身、委ねる）、③祈りの終り（確信、平安）、  
④祈りの答え（神の応答）。祈りについての重要なことがわかります。生徒が祈る信仰を持っているなら、祈りについて話すと良いでしょう。
- 第3問 最低でも年に一度は、母親への感謝の思いを表したいものです。母親の働きを一つ一つ確認し、母親への感謝を言葉と行動で表すように励ましましょう。

5  
20

- 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。
- 第2問 3種類の人の姿の中身が表にしてあります。横軸は「生まれながらの人」、「肉の人」、「靈の人」、縦軸は「頭の中（知識）」、「心の中（思い・本心）」、「（心から）出てくるもの」です。「生まれながらの人」が救われるためには「罪の悔い改めと洗礼」を通る必要があります。さらに、「靈の人」になるためには「悔い改めと聖靈に明け渡すこと」を通る必要があります。表の中の①~③の空欄に「自分の思い」、「聖靈」、「キリストの思い」のいずれかを書き入れます。同じ番号は同じ言葉です。答えは、①自分の思い、②聖靈、③キリストの思い、です。
- 第3問 表の中の「（心から）出てくるもの」のリストの中に、自分の心から出てくるものと同じものを見つけて○をします。○が一番多かったところが、自分の今いる状態です。「生まれながらの人」のところが多くれば、「罪の悔い改めと洗礼」を説明し、「肉の人」が多ければ「悔い改めと聖靈に明け渡すこと」を説明します。「靈の人」のところが多ければ、感謝の祈りをささげましょう。
- 第4問 靈の人に導かれるために、どのようにしたら良いかを教えて話し合いましょう。

5  
27

- 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。
- 第2問 ペンテコステの出来事から、キリスト教会が始まったので、答えは②です。
- 第3問 「キリスト教会の誕生」から、「世の終わり・主の再臨」に至るまで、聖靈は私たち一人一人を導き、教会を建て上げるために働いてくださいます。その主な役割3つを、書いてあるみ言葉から判断して書き込みます。答えは「①共にいてくれる」「②助けてくれる」「③真理を教えてくれる」です。
- 第4問 (1)図の中で、自分は「キリスト教会のスタート」から「主の再臨・世の終わり」の中間にいることを確認し、その辺りに自分の顔をかきます。  
(2)目指しているのは「主の再臨」です。共に歩んでくださる神様に、感謝の祈りをささげます。

6  
3

- 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。
- 第2問 22~23節の「御靈の実」9個を、一緒に意味を考え話し合いながら書き写します。
- 第3問 19~21節の「肉の働き」15個も一緒に意味を考え話し合いながら書き写します。性的な罪もあり、説明や理解が難しいところもありますが工夫してください。
- 第4問 自分の中にある「実」や「働き」で当てはまると思うものに○をします。
- 第5問 生まれながらの自分からは肉の働きが出てきますが、イエス様を信じた者は、自分の肉はイエス様と共に十字架にかかるて死んでいることを、24節を書き写して確認します。3回読み、信じる決心を促します。

6  
10

- 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。
- 第2問 男が五千人ほどいたことから、女、子ども合わせると一万人はいたであろうと一緒に予想します。
- 第3問 その一万人の食事はどれほどのものか、学校の給食を思いながらパンと牛乳で考えます。
- 第4問 子どもがアンデレに手渡した、五つのパンと二匹の魚の絵を描きます。
- 第5問 五つのパンと二匹の魚では、全く足らないことを話し合います。答えは③です。
- 第6問 イエス様がパンと魚を受け取って、なさったことの順番の数字を書きます。上から2、3、1です。
- 第7問 その結果どうなったかを確認します。答えは①です。
- 第8問 イエス様は、ほんの小さなものを祝福し大きくして用いてくださることを覚えて、イエス様に何をささげるかを考えます。その中に「自分自身」もぜひ書くように導いてください。(ローマ12・1)

6  
17

- 第1問 ヨブの正しさを、1節と8節から書き出します。答えは①全く、②正しく、③神を恐れ、④悪に遠ざかっていた、です。
- 聖書は2章10節まで読んでおいてください。
- 第2問 第1の試練は、ヨブの持ち物を撃つ、ということでした。絵を見ながらサタンの言葉やヨブの財産のことを話して確認します。絵にある「子どもたち」「しもべ」「かちく」が撃たれたという意味で絵の上に「×」をつけます。
- 第3問 その試練の中でも信仰の勝利をした、ヨブの言葉(本日のみ言葉)を書き入れ覚えます。
- 第4問 ヨブがそう言い得た理由を考えます。答えは②です。
- 第5問 第2の試練は、ヨブの体を撃つ、ということでした。病気になったということで、ヨブの体に痛んだ様子を書き加えます。(ひどい皮膚病、できもの、傷、血、包帯など…)
- 第6問 その試練の中でヨブが言いえた、2章10節の勝利の言葉を書き入れます。3回読んで、どんなにすごい言葉かを話し合いましょう。
- 第7問 第4問と同様にヨブがそう言い得た理由を考えます。答えは②です。
- 第8問 自分がヨブと同じ試練を受けたら、自分の信仰はどうなっているかを考え書きましょう。

6  
24

- 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。
- 聖書はステパノの殉教のところ7章の終わりまで読んでおいてください。
- 第2問 ステパノはどのような人だったか、5節をヒントに書き入れます。答えは①信仰、②聖霊、です。
- 第3問 これほどすぐれたステパノが、とらえられ殺された理由を考えます。答えは②です。
- 第4問 このステパノが、イエス様の証人として働き、殉教していったのですが、その死ぬ時にステパノの言った言葉と、イエス様が十字架で死なれたときに言わされた言葉を並べて書き、そっくりであることを確認します。ステパノはまさに殺される時に、イエス様と同じ心を持っていたことを覚えます。
- 第5問 自分を殺す人のために祈るという、イエス様と同じことができた理由を考えます。答えは①と③です。
- 第6問 自分も悪口を言われたりしたときに、ステパノを思い出して祈るべきことを話し合います。